

University of Miyazaki Library

宮崎大学附属図書館概要

2021



宮崎大学附属図書館

附属図書館の理念及び目標

「理念」

宮崎大学附属図書館は、本学の理念・目標の実現のために、本学の教育・研究を支援する基盤組織として、図書・雑誌・電子資料等の学術情報資源を収集・整理・保存し、学生及び教職員等の利用者に提供することを使命とする。

また、本学の学術情報を国内外に発信して本学の教育・研究の発展に寄与するとともに、地域社会・国際社会の学術研究の発展及び文化の振興に貢献する。

「目標」

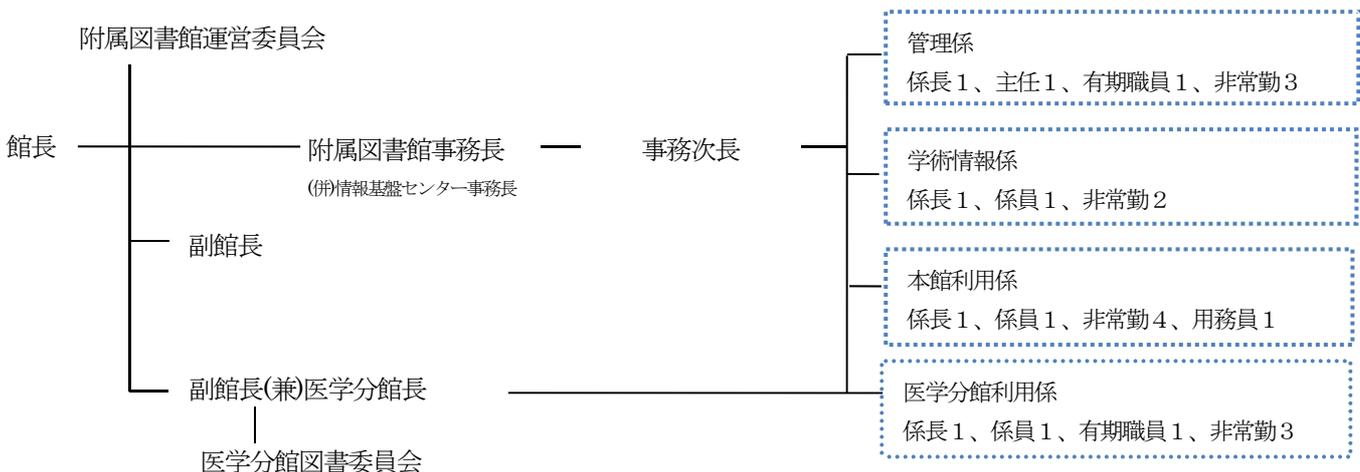
1. 利用者のニーズに対応した支援の充実・強化を図る。
2. 学術情報資料の体系的かつ計画的な収集・整備を促進する。
3. 電子図書館的機能の一層の充実を図る。
4. 教育・研究及び学習のための利用環境の快適化・多様化・機能化を推進する。
5. 研究成果等を積極的に集積・発信し、教育研究活動の活性化に資するとともに、研究資源を社会に還元する。
6. 国内外の図書館との連携及び相互協力に努め、地域社会・国際社会の発展に貢献する。
7. 図書館の理念を達成できる組織の整備を図るとともに、図書館職員の専門性の育成に努める。

沿革

旧宮崎大学附属図書館【統合前】		旧宮崎医科大学附属図書館【統合前】	
昭和 24 年 5 月	宮崎大学設置 附属図書館設置	昭和 49 年 6 月	仮校舎に附属図書館設置
昭和 38 年 3 月	附属図書館新築工事竣工	昭和 53 年 10 月	現在地に附属図書館竣工
昭和 46 年 3 月	附属図書館増築工事竣工	昭和 53 年 11 月	附属図書館開館
昭和 62 年 7 月	現在地に附属図書館竣工		
昭和 62 年 9 月	附属図書館開館		
宮崎大学附属図書館【統合後】			
平成 15 年 10 月	旧宮崎大学と旧宮崎医科大学の統合により、附属図書館は本館と附属図書館医学分館の 2 館構成となり、館長、医学分館長、副館長を置く。事務組織は学術研究協力部情報図書課となる		
平成 16 年 4 月	国立大学法人化に伴い、附属図書館関係学内規程等を改正		
平成 19 年 8 月	「宮崎大学学術情報リポジトリ」の一般公開を開始		
平成 21 年 4 月	リザーブブック制度の開始		
平成 22 年 10 月	事務組織改組、情報図書部図書課となる		
平成 23 年 12 月	パスファインダー公開開始		
平成 24 年 4 月	医学分館にラーニングコモンズを設置		
平成 24 年 10 月	本館にラーニングコモンズを設置		
平成 27 年 4 月	本館にセミナールーム（アクティブラーニングサポートルーム）を設置		
平成 28 年 4 月	事務組織改組、附属図書館事務部となる		
平成 28 年 11 月	学生サポーター制度を正式に開始		
令和 2 年 1 月	附属図書館（医学分館）リニューアルオープン		
令和 2 年 7 月	附属図書館（本館）リニューアルオープン		

組織図

(令和3年5月1日現在)



<本館>



3階



hidamari



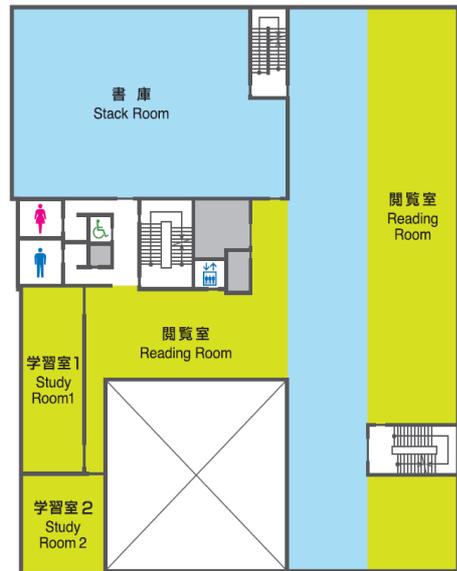
itanoma



komorebi



American Information Desk



2階



閲覧室 (開架)



閲覧室



閲覧室



学習室



1階



ワークショップコート



コミュニケーションコート

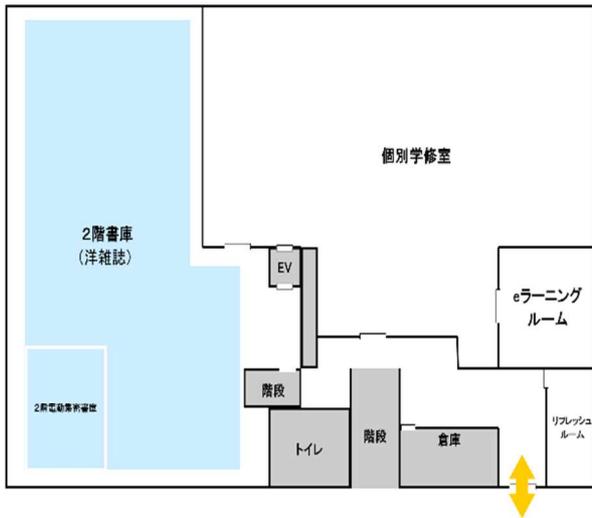


ライブラリーカフェ



絵本コーナー

<医学分館>



2階



リフレッシュルーム



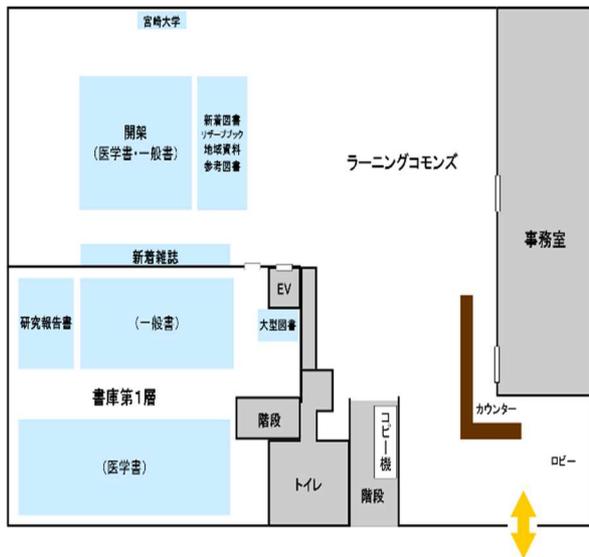
個別学修室



中2階



書庫第2層



1階



ラーニングcommons



開架閲覧席



書庫第1層

トピック

令和2（2020）年度

・平和資料展を開催

令和2年8月19日～10月15日まで、附属図書館本館において「宮崎基地特攻資料展」（主催：宮崎大学、後援：宮崎特攻基地慰霊祭実行委員会・南九州文化研究会）を開催しました。

本資料展は、戦時中の学徒出陣をはじめとする多くの民間人が犠牲となった戦争を二度と繰り返すことのないよう、大学生をはじめとする若い世代に戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えることを目的として、本学では初の試みとして開催されました。会場には宮崎基地（赤江飛行場）から出撃した特攻隊員達の顔写真や家族にあてた手紙や遺書などを並べたパネル、アメリカ軍が実際に使用していた装備品や戦闘機の模型などの展示や、MRT 宮崎放送の協力を得た映像視聴コーナーが設置されました。

また、コロナ禍で県内の小中学校が修学旅行の行き先を変更したことで、修学旅行などの受入を増やす目的で実施されているみやざき元気体験プログラムにおける平和学習、歴史・文化体験学習の一環として本資料展を訪れました。



特別展示「宮崎基地特攻資料展」



修学旅行に訪れた中学生

・情報基盤センター教員による「パソコン相談」の開催（令和2年10月22日～、附属図書館本館3階 naca-baco）

令和2年10月から附属図書館内における学生相談スペースを設置し、情報基盤センター 松澤英之 助教による相談を行っています。また、令和2年12月21日には、特別セミナー「Windows パソコンの上手な使い方」を実施し、「パソコンがよく解らない・・・」という学生への指導を行いました。

情報基盤センター教員による
「パソコン相談」

日時：10月22日（木）～
毎週木曜日 13:30～16:30

場所：図書館3F naca-baco

事前申込不要

※なお、上記の時間以外（平日8:30～17:00）のパソコン相談については、これまで通り情報基盤センター内で実施しておりますので、情報基盤センター1階受付にお越し下さい。

パソコン相談のサイネージ

宮崎大学 情報基盤センター 特別セミナー

Windows パソコンの上手な使い方
「パソコンがよく解らない・・・」という、学生の皆様必見です！

「情報」って何なの？
「パソコン」と「スマホ」は何が違いある？
「アプリ」と「セキュリティソフト」のインストールが解らない・・・
パソコンのセキュリティ確認はどうしたらいいの？
警告メッセージが出た！どうすればいい？
パソコンを購入したけど何を設定すればいいの解らない・・・

日時：令和2年12月21日（月）
12:00～13:10

場所：附属図書館（木花）3階 komorebi

対象：学生・院生

定員：20名程度（※定員に達したら受付終了）

受講料：無料

講師：情報基盤センター 松澤英之

申込方法：右のQRコードから申込み

その他：各自パソコンを持参して下さい。

お問い合わせ 情報基盤センター事務局 黒木
☎ 0985-58-7840

申込受付中

特別セミナーのポスター

・学生選書ツアー・展示

令和2年11月7日、蔦屋書店高千穂通店にて学生選書ツアーを開催し、12名の学生が参加しました。学生自身が興味のある専門分野や一般書など143冊の本が選ばれ、参加した学生からは、「興味のある分野の専門書が購入できてよかった」「貴重な体験になった」等の感想が寄せられました。なお、購入図書は令和3年1月14日から2月27日まで図書館ロビーにて展示しました。



学生選書ツアー本展示の様子



選書ツアーの様子

・「全国高校生短歌オンライン甲子園」サテライト会場 YouTubeにて配信（令和2年11月7日）

国文祭・芸文祭みやざき2020 さきがけプログラムの1つとして、全国高校生短歌オンライン甲子園が附属図書館1階のワークショップコートにて開催されました。

岩手県盛岡市 全国高校生短歌大会（短歌甲子園）、宮崎県日向市 牧水・短歌甲子園、富山県高岡市 高校生万葉短歌バトル in 高岡 これらの3つの大会の優勝校が、全国で初めて集まり参加するオンラインの大会となり、高校生短歌の最高峰チームが宮崎県内実力校とともに熱い闘いを繰り広げました。



「全国高校生短歌オンライン甲子園」集合写真



国文祭 芸文祭 みやざき 展示コーナー

・「令和2年度宮崎県大学図書館協議会講演会」開催（令和2年12月9日）

ワークショップ

「大学図書館における学生活動支援

主体的な学生活動を支援する大学図書館の役割・取組

日時 令和2年12月9日(水)15:00~17:00

会場 宮崎大学附属図書館本館3階hidamari (リモートでも配信)

参加者数

会場参加: 24名

(宮崎大学関係者: 19名 宮崎県内関係者: 5名)

リモート参加: 16名

(宮崎大学関係者: 1名 宮崎県内関係者: 6名 その他: 9名)

パネルディスカッション

進行: 中村 佳文 (宮崎大学附属図書館副館長・宮崎大学教育学部教授)

パネリスト: 山崎 有美 (宮崎大学地域資源創成学部准教授)

高橋 利行 (宮崎大学産学・地域連携センター准教授)

瀬尾 七菜美 (宮崎大学教育学部4年)

ワークショップ

進行: 伊藤 健一 (宮崎大学国際連携センター准教授)

ファシリテーター: 谷口 夢歩 (宮崎大学教育学研究科)

瀬尾七菜美 (宮崎大学教育学部)

梶原 理人 (宮崎大学農学研究科)

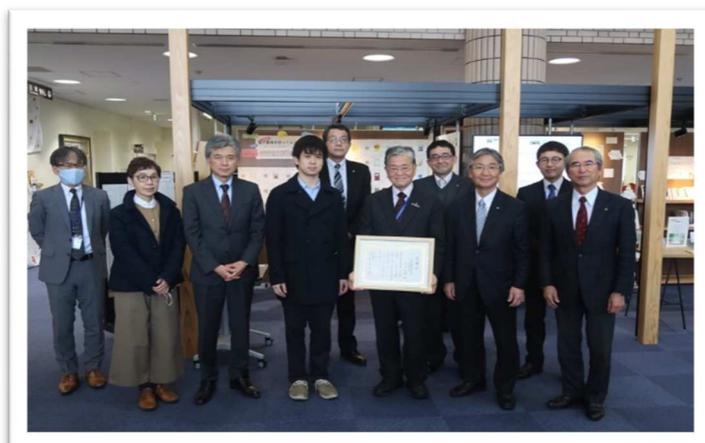
濱砂 花菜 (宮崎大学教育学研究科)

吉田 知也 (宮崎大学工学部)



・米良電機産業株式会社からの電子書籍寄付に係る感謝状贈呈式

令和3年1月27日(水)附属図書館において、米良充典氏(米良電機産業株式会社代表取締役社長)への感謝状贈呈式を挙行了しました。この式は令和2年に米良氏より附属図書館へ寄附をいただいたことに対して感謝の意を表すもので、頂いた寄附は電子書籍513冊の購入に充てました。式では、本学学生を代表し、附属図書館学生サポーターの梶原理人さん(大学院農学研究科1年)から感謝の言葉が述べられ、附属図書館では、1月7日から1月30日の期間で、月例展示「電子書籍(e-book)使ってみよう!!」を開催し、電子書籍の利用普及を図りました。



感謝状贈呈式の集合写真



e-book 月例展示

・「駐日米臨時代理大使と学生の意見交換会」開催

令和3年3月29日、宮崎大学では駐日米国臨時代理大使のジョセフ・M・ヤング氏の訪問を受け、学生との意見交換会を開催しました。本訪問は、令和2年度リニューアルした附属図書館に、在福岡米国領事館からの助成によって、アメリカンインフォメーションデスクを設置したことに伴い実現したもので、ヤング臨時代理大使は学生代表2名による英語での図書館の案内を受けながら、附属図書館1階の根井正利博士展示コーナー及び3階のアメリカンインフォメーションデスクを視察しました。

その後の意見交換会では、本学の学生20名（留学生含む）やオンライン参加者20名とアフターコロナの留学や異文化理解等に関して英語で積極的なディスカッションを展開しました。



学生が英語で図書館内を案内



意見交換会の様子

展 示

令和2（2020）年度

<本館>

- ・企画展示「改修みどころMAP」（7月15日～8月18日）
- ・特別展示「宮崎基地特攻資料展」（8月19日～10月15日）
- ・月例展示「芥川・直木賞受賞作」（8月28日～9月30日）
- ・学生展示 第1回ひと箱展示 テーマ「楽しさ」（10月16日～10月31日）
- ・特別展示 県立図書館巡回展「古代浪漫紀行」（10月19日～30日）
- ・月例展示「みやにち俵万智短歌賞」（11月2日～30日）
- ・月例展示「誰でもデザインができる本」（11月2日～30日）
- ・月例展示「コロナ禍でのユニセフ活動」（12月1日～22日）
- ・月例展示「クリスマスの本」（12月1日～25日）
- ・月例展示「ノーベル賞関連図書」（12月1日～25日）
- ・月例展示「電子書籍（e-book）を使ってみよう!!」（1月7日～30日）
- ・月例展示「学生選書ツアー図書」（1月14日～30日）
- ・月例展示「芥川・直木賞受賞作」（2月19日～3月31日）



月例展示「クリスマスの本」

<医学分館>

- ・企画展示「感染症 infectious disease」展（前年度2月19日～継続中）
- ・企画展示「コーヒー・紅茶・緑茶の愉しみ」（10月30日～5月31日）
- ・企画展示「感染症」感染症の歴史に学ぶ（11月2日～継続中）
- ・企画展示「国家試験対策」（12月14日～30日）



月例展示「コーヒー・紅茶・緑茶の愉しみ」、「感染症」



月例展示「ノーベル賞関連図書」

学生サポーター

学生の図書館活動への理解を深め、図書館職員と協力しながら図書館活動の活性化と図書館振興を図ることを目的として、平成28年11月、学生サポーターが正式に活動を開始しました。

活動内容

- (1) 図書館のサービス向上に向けての提案
- (2) 図書館の行事の企画及び実施にかかる補助
- (3) その他図書館の活動に関すること。

これまで、ビブリオバトル、学生選書ツアー、大学開放事業での学生サークルとのコラボ企画の提案・運営、不用図書の無償配布などで活躍してもらったほか、全国学生協働サミット（横浜市）に参加し、他大学での取り組みを学んでももらいました。令和元年度以降、複数名の学生サポーターが登録されており、いろいろな活動を通じて、今後のサポーター活動にも生かしてもらいたいです。



パスファインダー

平成23年度より、授業と関連したテーマについて、パスファインダー（調べ物をする際の道しるべとなる情報をまとめた資料）を作成しています。当初6件だった登録数は、令和2年度末現在約125件に増え、年間の閲覧回数も12,866回となっています。閲覧回数100回以上のものは14件、そのうち1件は3,759回利用されました。

コレクション

○大正新脩大藏經 全100巻

このコレクションは、膨大な数のインド仏典の漢訳を10年以上の歳月をかけて全100巻に編集したものです。梵語写本の多くが失われている現在、仏教研究者にとって漢訳仏典は非常に重要であり、特にこの大藏経はその校正の厳密さゆえに高く評価されています。

○イギリス教育史コレクション 467点

このコレクションは、16世紀イギリスの人文主義教育思想家アスカムから20世紀に至るイギリスの教育思想（史）、教育史に関するオリジナル文献・研究書を幅広く収めています。

○アレン・ハット旧蔵 世界労働運動史コレクション 996点

このコレクションは、「イギリス労働運動史」の著者として知られる労働運動史家アレン・ハットが所蔵していた、イギリス並びに英露関係を中心とした世界労働運動史の様々な文献から構成されています。

アメリカンインフォメーションデスク

図書館と国際連携センターと連携し、米国国務省からの助成を受け企画した「アメリカ国務省×宮崎大学 図書館プロジェクト」の一環として設置しました。米国留学や文化に関する情報提供や各種イベントを実施し、宮崎大学のみならず宮崎県全体の国際化、日米相互理解、ひいては日米友好の深化の促進を目的としたものです。



図書館データ（統計）

【蔵書構成（本館）】

（令和3年5月1日現在）

区分	総記	哲学・ 宗教	歴史・ 地理	社会 科学	自然 科学	工学・ 技術	産業	芸術・ 美術	言語	文学	合計
和漢書	19,091	20,278	31,648	104,427	71,234	50,036	34,999	20,457	12,479	30,260	394,909
洋書	4,156	7,430	4,720	17,349	40,053	11,279	10,204	2,243	4,760	12,085	114,279
合計	23,247	27,708	36,368	121,776	111,287	61,315	45,203	22,700	17,239	42,345	509,188

【蔵書構成（医学分館）】

（令和3年5月1日現在）

区分	基礎教育等（和洋）							合計		
	人文	社会	自然	外国語	保健体育	その他	小計			
蔵書	6,248	4,915	6,853	4,285	460	467	23,228			
区分	専門教育等									合計
	基礎医学			臨床医学			看護学			
	和書	洋書	小計	和書	洋書	小計	和書	洋書	小計	
蔵書	12,474	21,993	34,467	25,510	35,630	61,140	5,228	585	5,813	124,648

【雑誌情報】

（令和3年5月1日現在）

区分	所蔵	
	本館	医学分館
和雑誌	8,134	2,249
洋雑誌	2,749	1,733
合計	10,883	3,982

【利用状況】

（令和2年度）

区分	本館		医学分館		
入館者（人） [うち学外者（人）]	72,717 [4,113]		14,417 [0]		
貸出	人数（人）	冊数（冊）	人数（人）	冊数（冊）	
	学生	4,043	8,186	1,625	3,636
	教職員	699	1,653	413	896
	学外者	237	703	7	16
	合計	4,979	10,542	2,045	4,548
レファレンスサービス（件）	436		630		
学外文献複写	依頼（件）	973		800	
	受付（件）	143		479	

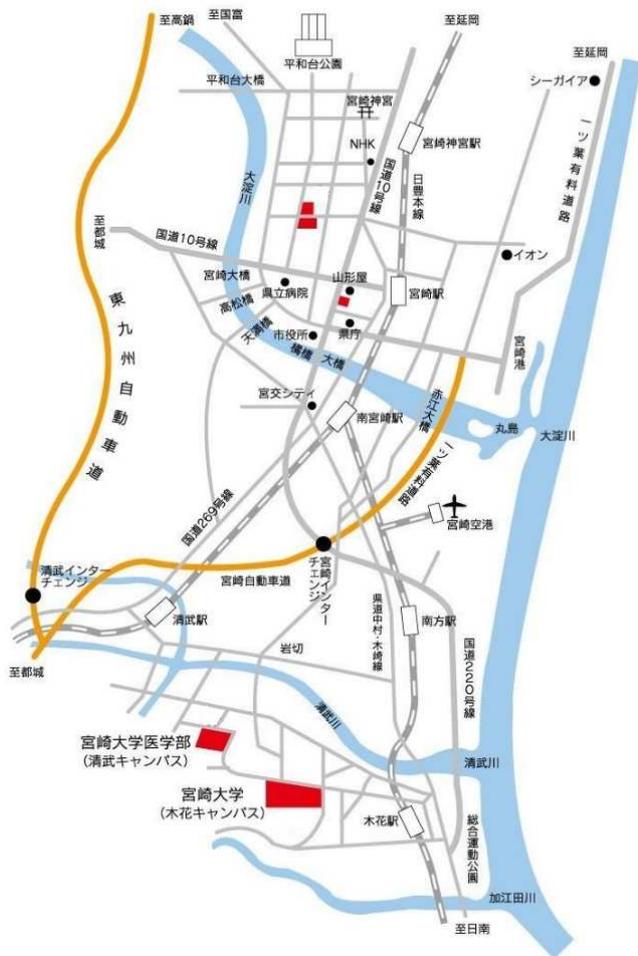
【ガイダンス】

（令和2年度）

区分	本館		医学分館	
	回数（回）	人数（人）	回数（回）	人数（人）
オリエンテーション	0	0	8	351
ガイダンス	13	489	4	323
時間外利用説明会			11	140
合計	13	489	23	814

アクセス

<アクセスマップ>



【交通案内】

バス利用（宮崎交通バス）

- JR日豊本線宮崎駅から 「宮崎大学・大学病院行」 に乗車（約40分）
- 宮交シティバスセンターから 「宮崎大学・大学病院行」 に乗車（約25分）

タクシー利用

<本館>

- JR日豊本線南宮崎駅から 約11km、約25分
- JR日豊本線清武駅から 約6km、約15分
- 宮崎空港から 約8km、約15分

<医学分館>

- JR日豊本線南宮崎駅から 約10km、約20分
- JR日豊本線清武駅から 約4km、約10分
- 宮崎空港から 約10km、約20分

<本館>



<医学分館>



宮崎大学附属図書館概要 2021

令和3年6月発行

編集発行 宮崎大学附属図書館
〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
TEL 0985-58-7759 FAX 0985-58-2896
<http://www.lib.miyazaki-u.ac.jp>